

| | | | |
|-----------|------------|------|--|
| 講義名 | 研究演習 | | |
| 講義コード | 55027 | 授業形態 | |
| 担当教員 | 青木 良三 | | |
| 開講期・曜日・時限 | 通年 金曜日 5時限 | | |
| 備考 | | | |

| |
|------------------|
| ゼミ |
| 3. 学部ゼミ・学科ゼミ |
| 学部 |
| 5. 商学部 |
| 学科 |
| 経営学科 |
| 演習名 |
| 青木良三ゼミナール(経営戦略論) |

| |
|--|
| 概要説明 |
| (1) 研究課題 |
| このゼミでは、経営戦略論の理論的・実証的研究を行います。理論と実証のバランスのとれた授業を行うつもりです。理論を苦手とする学生が多ですが、理論なき実証はあり得ません。簡単に諦めずにしっかり学習して欲しいと思います。 |
| (指導要領) |
| ・研究演習 で習得した知識を使いこなせるようにすることを目標に置くこととします。企業行動を戦略的観点から分析できるように授業を行います。 ・前期は、ゼミ生が1人ずつ順番に、関心のある業界や企業の分析を行い、レポートにまとめ、発表します。その後、みんなで議論します。その際、できるだけデータに基づいて議論できるよう指導したいと思います。 ・後期は、未定です。ゼミ生の要望を聞いて授業をしたいと思いますが、過去にはグループに別れてビジネスプランを策定し、発表して貰ったことがあります。 |

| |
|----|
| 学位 |
| 学士 |

| |
|---|
| 教員よりの要望 |
| ・ゼミでは活発に議論して欲しいので、遠慮なく、恥ずかしがらずに発言しましょう。 ・ゼミ生とは緊密なコミュニケーションをはかっていき、有意義なゼミ活動を行って行きたいと考えています。ゼミが終わった後に会食する機会を設けたいと考えていますので、そういう語りに積極的に参加して欲しいと思います。 ・なお、新入歓迎会や就職内定お祝い会は、原則全員参加で行います。それ以外のコンパは、参加は任意とします。出席を強制しません。 |

| |
|------------------|
| 教員英字氏名 |
| Aoki Ryozo |
| 研究室 |
| 研究棟 207研究室 |
| 最終学歴 |
| 東京大学経済学部 |
| 主な研究活動・社会活動・研究業績 |

成長戦略、M&A戦略に関するケースの開発
「ソニーの合併時代 - 経営ビジョンと企業業績 - 」中内ビジネススクール、2006年7月
「ファーストリテイリング - (企業目標の達成) - 」中内ビジネススクール、2006年7月
「経営戦略とリーダーシップスタイルとの関係」流通科学大学論集・流通・経営編 第24巻第1号 2011年7月 楊善聰・青木良三
「卒業生大学生生活満足度調査にみる学生の取り組みと身についた力の経年変化の実態」 流通科学大学高等教育研究センター紀要 第9号 2012年3月
「ビールにおける味の差別化戦略の有効性について」流通科学大学論集 流通・経営編 第29巻第2号 2017年1月 高小羊・青木良三

| |
|--|
| 主な卒業論文のタイトル |
| 『キャラクターと経営戦略』 『ホンダ・インサイトからみる経営戦略』 『資生堂の経営戦略』 『エネルギー業界の変化とそれに伴う関西電力の経営戦略』 『東京デイズニerland & テーマパークの経営動向と比較』 |

| |
|--|
| 趣味・特技 |
| ・音楽鑑賞(とくにクラシック。CDを千枚以上もっています)、飲酒飲食(暴飲暴食になることが多い)。 ・スポーツは、年1回のスキー。 |

| |
|---------|
| 所属 |
| 商学部経営学科 |

| |
|------|
| 所属学会 |
| 組織学会 |

| |
|----------------------------|
| 専門分野 |
| ・経営戦略論。多角化戦略やM&A戦略、撤退戦略など。 |

| |
|--|
| 選考方法 |
| ・他のゼミからの当ゼミを希望する場合は、面接を行い、志望動機を聞き、成績表を見た上で判断します。 |

| |
|---|
| 担当科目 |
| 経営学入門、現代ビジネス、経営戦略論A、B、ストラテジック・マネジメント、研究演習、卒業研究、専門基礎演習 |

| |
|---|
| 備考 |
| 青木ゼミでは、質問しないと答えないとというやり方でゼミを行っています。したがって、意欲的に質問する学生にとって刺激的であり、楽しいゼミであると思います。分からないことは、恥ずかしがらずにどんどん質問して下さい。 |

| |
|---|
| 評価方法 |
| ・対面型講義の場合、出欠状況、レポートの内容と発表の良否、ゼミでの発言回数を助案の上、評価します。 ・オンデマンド型講義に変更になった場合は、レポート課題を何回か出します。そのレポートの内容を見て評価します。 |

| |
|-------------|
| 実務経験の有無及び活用 |
| |